

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	多様性を認め、互いを尊重することのできる児童の育成 ～自分や他の人のよさや思いを大切にしたい伝え合う活動 の充実を通して～
----------	---------------------------------------------------------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

人権教育を推進していく上で、自他を尊重し人権意識を高めるためには、自分自身のよさを認めると同時に、他の人のよさも認めることのできる児童の育成が重要である。そこで、自分の考えをもち発言することで自分自身に自信をもつこと、さらに、友だちの考えを聞き考えのよさを認めることができるように、自分や他の人のよさや思いを大切にしたい伝え合う活動を充実させることが重要であると考えた。この活動の充実を通して、一人一人の自尊心を高め、多様性を認め、互いを尊重できる児童の育成を目指し、本調査研究を実施した。

○調査研究の概要

本調査研究では、以下の①、②を通して多様性を認め、互いを尊重できる児童の育成に取り組んだ。

① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進し、意見交流などの活動を充実させることで、多様な考えの違いから学び合う力を育成する。

② 思いを伝え合うことのできるコミュニケーション能力を重視した体験活動の充実により、望ましい人間関係を築こうとする態度を育成する。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

明和町立明和東小学校

○これまでの研究指定等の状況

平成26年度 キャリア教育推進地区 県教委指定

○学級数

8学級（うち特別支援学級：2学級）

○児童生徒数(R6.1.31)

全校児童163名

○URL

<http://www.meiwa-school.ed.jp/meiwahigashi/>

○指定理由

明和町立明和東小学校は、学校のシンボルの木である「すずかけ」の言葉を使い、「進んで学びやりぬく子（かしこく）」「考えて行動し、やさしい心をもった子（やさしく）」「健康で明るく元気な子（たくましく）」の育成を目指した教育活動を展開している。中でも人権教育の推進として、望ましい集団活動を育成するための異年齢交流活動の活性化や道徳教育の充実・改善等による自尊感情の向上、人権感覚の涵養によるいじめの根絶等に取り組んできている。そこで、本校を令和5年度の研究指定校とし、これまでの取組を踏まえ、より充実した実践研究を進め、その研究成果を広く普及していきたいと考えた。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題1つに◎印を付与

①子供	○
②女性	
③高齢者	○
④障害者	○
⑤同和問題	
⑥アイヌの人々	
⑦外国人	○
⑧-1 HIV 感染者等	
⑧-2 ハンセン病患者等	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	◎
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	
⑭その他 ()	

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

本校では、校内研修で1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、単元構想シートによる単元を見通した授業づくりを中心に取り組んできました。これらの取組により「知識・技能」については一定の成果を上げることができたが、「思考・判断・表現」の定着には課題があった。そこで、児童がお互いに伝え合い学び合うことのできる授業の充実を図るようにした。一単位時間では、集団解決の時間・振り返りの時間を重視した。授業の中で多様な考えに触れ、話し合い・検討をする学び合いを通して、それぞれの考えのよさに気づき、お互いに高め合うことのできる児童が育成できるであろうと考え実践した。また、1人1台端末を活用した意見の共有を図ることで、表現の苦手な児童も主体的に伝え合う活動に参加している様子が見られた。

人権教育を推進する上で体験活動の充実が不可欠である。思いやりの心を育み、望ましい人間関係を築いていく態度を身につけていくために、各教科や特別活動、総合的な学習の時間、人権集中学習などの体験活動の中で、自他のよいところを認め、他者と協力できるような活動や場面を意図的に設定した。活動の内容を児童同士で話し合ったり、活動を通して感じたことやよさを伝え合ったりする時間の確保や、話し合い・伝え合いの視点の明確化など、コミュニケーションを重視した活動の充実を図るとともに、主体的な活動とコミュニケーションを大切にした参加体験型の実践的な学習を取り入れたことで、望ましい人間関係を築こうとする態度の育成に結びついたのではないかと考える。

県教育委員会は研究指定校に対して、年間3回（6月、10月、研究発表会当日）、授業参観を目的とした訪問を行い、研究推進にかかわる指導、助言等を行った。また、東部教育事務所、明和町教育委員会と協力し、研究発表に向けての指導案作成、授業研究会において、指導・助言及び援助を適宜行った。

○実施方法

① 授業改善の推進

多様な考えに触れ学び合いを重視する手立てとして、多様な考えを引き出すための発問の工夫、多様な考えを認め思考を深めるためのペア・グループ・学級全体など様々な形態を取り入れた話し合い活動の工夫を行った。また、県教育委員会発行資料を参考にした授業改善を図り、対話的活動の有効性に視点をおいた授業参観や成果と課題の共有を図った。

② 体験活動の充実

本校の特色である、毎日の清掃活動、運動会における団対抗、たてわり班での遊びなど

日常的に行われているたてわり班による異年齢活動を充実させてきた。また、人権集中学習や総合的な学習の時間・学級活動などにおいて人権に関わる体験的な活動を実践してきた。5年生では、高齢者や障害者の疑似体験、6年生では保護者参加での情報モラル講習会を行うなど人権課題と結びつけた体験活動を実施した。

③ 教育課程の見直し

人権教育全体計画、人権教育年間指導計画の見直しを図り、人権教育と各教科、道徳、特活、学校行事との関連の充実を図り、教育活動と人権教育がどう関わっているのか再確認した。これらは職員室に掲示し、加除修正を加えていくことで意識の高揚が図れた。

4. 検証・評価・改善・普及

【検証・評価方法】

① 児童のアンケート結果から

人権教育に関するアンケートを5月（前期）と11月（後期）に全校児童を対象に実施し、このアンケート調査結果を比較して検証を行った。

「授業中に自分の考えを話したり発表したりできますか」の項目では、「できる」「どちらかといえばできる」の回答が5月（70.7%）に比べ11月には（79.7%）と大きく増えており、児童が自信をもって発言できるようになったことが分かる。これは、本研究において、伝え合う活動を意識して取り組んだ成果と考える。授業中において教師や児童同士が一人一人の発言をしっかりと受け止め、発言を認めたり賞賛したりする場面を取り入れることにより、共感的な人間関係が高まり、児童が安心感をもって発言をすることができるようになった結果であると考えられる。

「自分の考えと友だちの考えを比べ、同じだ、ちがっている、と考えますか」の項目では、「考える」「時々考える」が5月（86.2%）に比べ11月には（97.4%）と大きく増えており、児童が友だちの考えについて関心もち、考えることができるようになってきている。これは、多様な考えを引き出す発問や話し合いの工夫に取り組んできた成果と考える。自分の考えを主張するだけでなく、他の人の考えや思いを大切にし、他者との相違点を意識し、互いを認め尊重する児童が増えた。

毎月の学校生活アンケートでは、昨年度と比べ「友だちからいやなことをされたり、言われたりしますか」「友だちをいやな気持ちにさせたことがありますか」の項目で「はい」と回答する児童が減少した。本研究で授業改善の推進や体験活動の充実に取り組み、多様性を認め、互いを尊重する心を育んできた成果だと考える。

② 参観の観点を共通理解した授業参観から

本研究のテーマに迫り、自分や他の人のよさや思いを大切にしたい伝え合う活動の充実を図るために、道徳科を中核とした授業改善に取り組んだ。そして、多様な考えを引き出すための発問の工夫と、多様な考えを認め思考を深めることのできる話し合い活動の工夫に視点を置いた授業参観と研究協議を重ねてきた。

授業を行うに際して、授業者が、児童が安心できるような話し方や発言を否定せずにはまず受容すること、「～さん」付けで行う呼名など、教師自身が人権意識を高くもち、一人一人を大切にすることを意識した授業を実践することができた。教師自らが児童を大切にすることをベースとして、考えをゆさぶる問い返しや多様な考えを促すような補助発問を行い、より多様な意見を導き出すことができた。出された意見を可視化できる板書の工夫に努めた。児童は、様々な考えや意見に触れることができ、自分とは違った考えをもっている友だちに気づき、人権教育と結びついた授業展開となっていた。

また、低学年の道徳科では、役割演技を取り入れることにより心情を捉えやすくな

り、立場を交換した役割演技を行うことなどによって、他者の気持ちについても考えを深めることができた。これは、生活場面においても、自分だけではなく他の人の思いを意識することにつながった。さらに、ハンドサインの活用も有効であった。ハンドサインを行うことによって自分の意思決定・自己存在感を得ることができた。

話し合い活動では、ペア、グループ、学級全体など色々な形態で取り組んできた。また、タブレットを活用することにより、発言が苦手な児童でも自分の考えを周りに知ってもらえることができた。お互いに意見を共有することで、他の人の意見や考えを知り、自分の意見や考えと比較しながら話し合い活動を進めることができた。話し合い活動では、自分の考えのよさを認め受け入れてもらったり、他の人の意見を認めてあげたりする経験を積み重ね、他の人のよさや思いを大切にしようという意識が高まってきているように感じる。

また、授業全般にわたり教師が「認め・ほめ・励ます」ことを意識した指導を行ってきた。児童一人一人が、学級の中で認められ、学級での存在意識の高まりとともに、教師の姿勢が児童同士の認め合いや励ましの声かけにつながっていった。

③ 教師の観察、児童のノート、ワークシート、作文の記述から

本校の大きな特色として、たてわり班による異年齢活動を日常的に行っている。たてわり班では、5月にリーダー研修を行い、上級生としての関わり方を考えた。ワークシートには、「リーダーとして周りを見ながら楽しく活動しよう」、「下級生の面倒を見て楽しく活動する」、などの記述が見られ、周りの班員を意識するリーダーとしての自覚が高められた。実際の活動の中でも、周りの意見を取り入れながら遊んだりルールを決めたり、下級生に優しく声をかけたりする姿が見られた。学校評価では、低学年の保護者から「高学年の子と一緒に遊んでくれてありがたいです」「下の子の面倒を見る温かい心が育っている学校だと思います」という記述があった。日常的なたてわり清掃では、班長を中心に協力して清掃活動を行っていた。各清掃場所での出来事や一生懸命に取り組んでいた様子などを職員間でこまめに情報共有することで、全ての教職員が児童の頑張りを認めることにつながった。

また、人権集中学習や総合的な学習の時間、学級活動などに人権に関わる体験活動の充実を図ってきた。5年生の総合的な学習の時間では、高齢者や障害者への理解を深める学習を位置づけ、認知症サポート事業活動や、高齢者疑似体験・車椅子体験など体験活動の充実を図った。「認知症の人によりそい、理解しながら、助けたり話したりしたい」という感想が多く、体験活動を通して、相手のおかれている状況や思いを理解し、多様性を認めることにつながった。3年生が行った人権教室では、人権擁護委員を招いて学習をした。実施後の感想では、自分も周りの人も大切にしていきたいとの記述が見られ、人権について考えることができた。6年生が行った情報モラル学習では、警察署の方を招き保護者と一緒に学習を行い、インターネットによる人権侵害について真剣に学び、犯罪に巻き込まれないための注意点や心構えについて考えることができた。人権

集中学習は見直しを図り、今まで年1回の実施であったのを1学期と2学期の年2回とすることで、継続的に人権意識をもつことにつながった。2回目に行った人権作文の発表では、誰にでもよいところがあることについて、いじめについて、障害をもつ人との関わりについてなど、各学年で学習したことをもとに代表者が発表し人権意識を高めることができた。

④ 教育課程の見直しから

昨年度末から今年度初めにかけて教育課程を計画的に見直した。群馬県人権教育充実指針に基づき、人権教育上の取組や重要課題に対する取組を具体的に全体計画に設定した。年間指導計画においても、人権重要課題と道徳授業・各行事との関連を図るようにした。見直しをすることにより、教職員が人権教育について再確認することができた。この全体計画と年間指導計画は、職員室内に掲示し、教員が普段から学校行事や各教科の学習を、人権教育という視点で見ることができるようにし、日常的に点検・評価を行い継続した取組となるよう随時加除修正を行ってきた。

⑤ その他の活動から

1回目の人権集中学習期間に、ふわふわことば週間を設定し、児童一人一人が自分が使いたいふわふわことばについて考え、カードに書き、全校児童のカードを掲示した。相手が嬉しい気持ちになるふわふわ言葉を意識して使い、帰りの会等で振り返りを行うようにした。また、自分がふわふわ言葉を言ってもらったこと、してもらって嬉しかったことを明和町の特産品である梨の実に見立てたカードに記入し、随時貼り出し、大きな梨の木として掲示した。これらは全校児童がいつでも目にすることができるように多くの児童が通る場所に掲示した。カードの前で足を止めて読んでいる姿が見られ、言葉遣いや思いやりなど人権意識を継続して高めることができたと考える。これらの取組では、学年を越えてお互いのよさを伝え合うことができ、校内での多様性を認めることにもつながった。

今後の課題としては、小規模校で慣れ親しんだ環境から、中学校またはその後の新しい環境の中でも児童が自信をもっていけるように、自己有用感を高め合い励ましあって成長していく児童の育成を今後も継続していく必要があると考える。また、今回の研究として取り組まなかった人権課題も含め、多様化する人権問題に対しての意識を高め、家庭や地域との連携を図りながら、今後も研究を継続していきたい。

【普及】

○研究発表及び授業公開

令和5年11月28日に、明和町立明和東小学校において、東部教育事務所管内教職員（47名）、群馬県教育委員会、東部教育事務所、明和町教育委員会の関係者を招き、研究発表及び授業公開（3授業）を行った。

この際、研究発表資料の作成と配布を行い、研究内容の普及を図った。

○研究内容の県ホームページでの公開

上記公開授業で実践した授業の指導案及び写真を県に提供し、ホームページ掲載することによって普及を図った。

5. 人権教育に係る年間指導計画

人権教育年間指導計画 (1学年)

明和東小学校

学年目標	なかよく あそべる こども										生徒指導	学校生活アンケート(毎月)
重要課題	①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害のある人たち ⑤同和問題 ⑥外国籍の人たち ⑦HIV感染者等 ⑧ハンセン病患者 ⑨犯罪被害者等 ⑩インターネット等 ⑪その他											
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	どうぞよろしく(国)①②④	わけをはなそう(国)② がっこうだいすき(生)①②③	おきなかぶ(国)⑥	すきなもの、なみに(国)② おむすびころりん(国)③	ききたいな、ともだちのはなし(国)② いきものとなかよし(生)②	くじらぐも(国)② しらせたいな、見せたいな(国)②	ともだちのこど、しらせよう(国)② むかしはなしをよもう(国)⑥	じぶんのできるよ(生)①③	ふゆをたのしもう(生)③ ききたいな、ともだちのはなし(国)②	これはなんでしょう(国)② ずうっと、ずうっと、大すきだよ(国)③	もうすぐ2年生(生)②	
徳	A 主として自分自身に関すること		きんのおの(正直誠実)②				ぼくはずかしいや(正直誠実)②	一にち十ぶん(希望と勇気努力と強い意志)②		ぼくにもあるかな(個性の伸長)②		
	B 主として人と関わること	みんなであのしく(友情信頼)①④		おとしよりのいっしょに(親切思いやり)③⑤		はしのうえのおおかみ(親切思いやり)③⑤		二わのこどり(友情信頼)①④				
	C 主として集団や社会に関すること				ぶうたのやくめ(公正、公平、社会正義)⑧			エマさんのこたえあわせ(国際理解、国際観音)⑥	ぎんのしずく(家族愛家庭生活の充実)①③⑤	ぼくにもたせて(家族愛家庭生活の充実)①③⑤		
	D 主として生命や自然に関すること		みんなみんないきてる(生命の尊さ)⑨	おたんじょうひれっしや(生命の尊さ)③⑤		わきだしたみず(生命の尊さ)⑨						
特別活動	学級活動	1ねんせいになってのしいきゅうしよく	かかけをきめようのしいしゅうがくりょこう	あめのひのあそび	たのしいなつやすみ	たのしいうんどうかい	こうがいがかしいゆうのきまり	ともだちっていいな 人権集中学習	たのしいふゆやみ	みんなのいいところをみつけよう	6ねんせいをおんかいのれんしゅうをしよう	もうすぐ2ねんせい はるやすみのすごしかた
運動	児童会活動	1年生を迎える会						感謝のつどい		6年生を送る会		
学校行事	新任式・始業式 入学式 発育測定	交通安全教室 修学旅行	地震・火災避難訓練 引き渡し訓練	終業式	始業式(8月) 不審者対応避難訓練 水害避難訓練 運動会	人権講話	人権集会 持久走大会	終業式	始業式 書き初め大会		修了式	
総合的な学習の時間												
家庭・地域との連携	通学路探検											

人権教育年間指導計画 (2学年)

明和東小学校

学年目標		みんなと なかよく あそべる こども										生徒指導	学校生活アンケート(毎月)	
重要課題		①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害のある人たち ⑤同和問題 ⑥外国籍の人たち ⑦HIV感染者等 ⑧ハンセン病患者 ⑨犯罪被害者等 ⑩インターネット等 ⑪その他												
月		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
各教科			うたでもだちのわをひろげよう(音)	生きものなかよし大作戦(生)	生きものなかよし大作戦(生)	表現リズム遊び(体)	お手紙(国)②	もっとなかよしまちたんけん(生)②	鬼遊び(体)	あしたへジャンプ(生)⑦		スーホの白い馬(国)⑥		
道徳	A 主として自分自身に関する事						お月さまがみている(正直)							
	B 主として人と関わること		およげないりすさん(友情)④						あいざつが嫌いな王様(礼儀)		くみの木と小鳥(親切)④			
	C 主として集団・社会との関わりに関する事	学校、大すぎ(感謝)		わたしたちもしごとがしたい(勤労)⑨	わたしのおじいさんおばあさん(家族愛)③⑨		ネットマナーをみにつけよう(規則の尊重)⑩	ジョゼクんとおりがみ(国際理解)⑥		のぎざり山のたふつ(公正公平)				
	D 主として生命・自然・崇高なものに関する事					おとうとのたんじょう(生命の尊さ)⑨			1まいのしゃしん(生命の尊さ)⑨			「わたしものがたり」(生命の尊さ)③⑨		
特別活動	学級活動	学級目標を決めよう 係を決めよう	雨の日の過ごし方 学校たんけん	楽しい修学旅行	お楽しみ会 振り返ろう	2学期の係を決めよう	運動会に向けて	持久走走大会に向けて 人権集中学習	お楽しみ会 振り返ろう	3学期の係を決めよう	ありがとうを伝えよう	お別れ会 振り返ろう		
	児童会活動	1年生を迎える会							感謝のつどい		6年生を送る会			
	学校行事	新任式・始業式 入学式 発育測定	交通安全教室 修学旅行	地震・火災避難訓練 引き渡し訓練 修学旅行	終業式	始業式(8月) 不本音別居定住訓練 水害避難訓練 運動会	人権講話 役場見学 ピオトープ見学	人権集会 持久走大会	終業式	始業式 書き初め大会			修了式	
総合的な学習の時間														
家庭・地域との連携												役場見学 ピオトープ見学	人権集中学習	

人権教育年間指導計画 (3学年)

明和東小学校

学年目標		みんなと仲良く協力できる子ども										生徒指導	学校生活アンケート(毎月)
重要課題		①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害のある人たち ⑤同和問題 ⑥外国籍の人たち ⑦HIV感染者等 ⑧ハンセン病患者 ⑨犯罪被害者等 ⑩インターネット等 ⑪その他											
月		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科		よく聞いて、じこしょうかい(国)①② 種をまこう(理)	もっと知りた い、友だちと チョウを育てよ う(理)	気持ちをこめて 「来てください」 (国)③ トンボやバッタ を育てよう(理)		わたしと小鳥と すずと(国)② 昆虫を調べよう (理)	ちいちゃんのか げおくり(国) ⑤		三年とうげ(国) ③	ちいきにつたわ る音楽でつなが ろう(音)③	これがわたしの お気に入り(国) ② わたしたちの学 校じまん(国) ②	モチモチの木 (国)②③ 市の様子(国) ③ 人々のつ りかわり(社) ③⑤	
道徳	A 主として自分 と関わる			わたしのしたこ と(親切、思い やり)② いただきます (生命の尊さ)		世界一うつくし い体そうをめざ して(個性の伸 長)②	ぼくらは小さ なにはかせ(努 力と強い意志) ②		太郎のいどう教 室(節度、節制) ②				
	B 主として人と 関わる	友だち屋(友情、 信頼)①① ドンマイ! ドン マイ! (相互理 解、寛容)②				ないた赤おに (友情、信頼) ②	わたしだっ て(相互理解、寛 容)①②	思い切って言 うならどうな る? (善悪の判 断、自律、自由 と責任)②		おぼあちゃんの おせち(感謝) ③ まっただとき は、おたが文化 の尊重)②⑤	四人五きやく (集団生活の充 実)①②		
	C 主として集 団に関わる		心の優先席(規 則の尊重)③④	はたらく(勤 労、公共の精神) ③	うわさ話・つら い気持ち(善悪 の判断、自律、 自由と責任)⑩	郷土かるた(伝 統と文化の尊 重)③	こまるのはだ れ? これがいい のかな?(規則 の尊重)②	ぼく、知らな かったよ(感謝) ③			やくそくだも ん(規則の尊重) ②	海をわたるラン ドセル(国際理 解、国際親善) ⑥	
	D 主として生 命に関わる		目をさますたね (自然愛護)										ヨシノボリ(自 然愛護)
特別活動	学級活動	3年生になって	楽しい修学旅行	雨の日の過ごし方	夏休みの過ごし方	運動会に向けて	お手紙大きくせん	人権について考 えよう 人権集中学習	冬休みの過ごし 方	がんばったね集 会を計画しよう	6年生を送る会 の練習をしよう	4年生にむけて 夏休みの過ごし 方	
	児童会活動	1年生を迎える 会								ありがとうの会	6年生を送る会		
	学校行事	新任教式・始業式 入学式 発育測定	交通安全教室 修学旅行	地震・火災避難 引き渡し訓練	終業式	始業式(8月) 不審者対応避難訓練 水雷避難訓練 運動会	人権講話	人権集会 持久走大会	終業式	始業式 書き初め大会		修了式	
総合的な 学習の時間		[環境] ○大豆を育てよう ○草花や野菜を育てよう					[環境] ○大豆の収穫をしよう ○豆について調べよう			[地域] ○明和町の栽培農業について調べよう			
家庭・地域との連携			梨農家見学					シクラメン農家 見学					

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

